

1. 診療報酬・介護報酬同時改定で変わってきたリハビリ専門職に求められる役割
2. 医療保険から介護保険へつなぐ退院前カンファレンスの重要性
3. 患者・利用者の在宅での生活を見据えたリハビリテーションの必要性
4. リハ職が実践するマネジメントと活動と参加へのアプローチ

入院時にすること

ケアマネ、相談支援専門員との連携
在宅復帰に向けた情報収集
活動と参加に向けた目標設定
多様なリハビリテーションの実施

退院時にすること

退院後の生活を想定した本人の主体を発揮したリハビリテーションの実施
ケアマネジャー、相談支援専門員との連携
退院後のリハビリテーションの検討
リハビリテーション実施計画書の作成

生活期のセラピストがすべきこと

紹介元機関との情報交換
ケアマネジャー、相談支援専門員との連携
生活期でのリハビリテーションの目標と期間の設定
生活期で提供するリハビリテーションのオリエンテーション

マネジメントに必要なこと

目標設定
期間の設定
目標の達成度合いの確認
予後予測
多職種のリハビリテーションへの関わりのアドバイス

多様なリハビリテーションとは

触らないリハビリテーション

活動と参加へのアプローチ

リハビリテーションマネジメント

5. 病院でも実践するリハビリテーションマネジメント

6. 患者・利用者の退院前訪問や訪問で何をどのようにアセスメントする？

10、2025年に向けて

お知らせ

普段は2日に一回以上のペースでコラムやnoteサイトを更新しています。すべての更新情報はFacebookページでお知らせしています。よければフォローしてください。

コラム更新情報は Facebook ページで発信

<https://www.facebook.com/yamada.reha.labo>



新しい「学びの形」を提供しています

やまだリハビリテーション研究所のnote

https://note.mu/yamada_ot



やまだリハビリテーション研究所のLINE@始めました

ID 検索は @yamada-ot.com



Twitter の ID はこちら

@yamada_ot_labo

